

令和5年度「英語コミュニケーションⅠ」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
1	普通科・理数科・美術科	英語	英語コミュニケーションⅠ	3	必修
教科書	ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I				
副教材	ターゲット 1200、ターゲット1900、Ultimate 総合英語				

	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	学びに向かう力、人間性 (E)
学習の目標	様々なジャンルを読み、その内容について自分の考えを述べるための語彙や文法を身に付けることができる。	様々なジャンルの文を読み方や、自分の考えを述べたり、書いたりするために積極的に語彙や文法を活用することができる。	授業を通して学んだ内容に関連する世界の社会的課題や問題点について 自分なりに調べ、その解決策を英語を用いて発信したり、議論することができる。

評価	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	主体的に学習に取り組む態度 (E)
評価の割合	4	4	2
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・確認テスト等の結果		
			提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	<p>①予習を前提とした授業を行っていきます。積極的に英文を読んだり、問題を解いたりして、予習をした状態で授業に臨むこと。辞書や文法書を積極的に活用します。</p> <p>②学習時間が重要です。毎日1時間の学習時間を意識してください。語学習得は時間が必要です。振り返りを行うこと。</p> <p>③即興型ディベートを導入していきます。チームの中で自分の役割を明確にして積極的に参加してください。</p> <p>④chrome bookを活用して日々の語彙力強化を充実させていきます。</p>
------------------	---

※備考	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
	二高ICEモデルとは？	Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる

令和5年度 年間指導計画

学期	月	単元等	学習のまとめりごとの目標	定期 考査	単元の本質を表現する問い 生徒の「なぜ」を引き出す問い
第1学期	4	Unit 1 What can happen in one second?	【題材内容】 学校新聞の記事などを通して、1秒間に世界で起こっていることについて学ぶ。 【言語材料】 受け身/不定詞/動名詞 【言語活動】 1秒間のように世界が変化しているかを説明する。 【言語の働き】 聞き直す/回答する		情報伝達型プレゼンテーションの場面で、情報や自分の考えなどを聞き手にわかりやすく話して伝えようとしている。
	5	Unit 2 What do superstitions mean to you?	【題材内容】 機内誌の記事などを通して、さまざまな国や地域で信じられている迷信について学ぶ。 【言語材料】 助動詞+受け身/現在完了進行形 【言語活動】 迷信についての自分の価値観を述べる。 【言語の働き】 驚く/興味や関心を表す	中間 考査	ラッキーアイテムを紹介するために、身の回りの迷信や信念について、聞いた話や読んだことなどを活用しながら、読み手を意識して要点や具体例を書こうとしている。
	6	Unit 3 How can we promote sustainability?	【題材内容】 Eメールのやり取りなどを通して、ゼロウェイスト政策について学ぶ。 【言語材料】 分詞の形容詞用法/関係代名詞 【言語活動】 世界中の人々がどのようにごみに関する問題に取り組んでいるかを説明する。 【言語の働き】 誘う/断る	期末 考査	フォーマルなEメールを書く場面で、環境保全に関する内容について、読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書いたりしようとしている。
	7	Unit 4 What can we learn from native Hawaiians?	【題材内容】 博物館のパンフレットなどを通して、ハワイ語やハワイ文化の歴史について学ぶ。 【言語材料】 現在完了形の受け身/過去完了形 【言語活動】 自分にとって大切な言葉や文化について述べる。 【言語の働き】 迷いを伝える/アドバイスする	パ フォー マンス テスト	スピーチの場面で、身の回りの言葉や文化に関する話題について、聞き手にわかりやすく話して伝えようとしている。
第2学期	9	Unit 5 Why do people tell each other stories?	【題材内容】 ウェブの記事などを通して、自分が体験したことを聞き手に語る際の秘訣を学ぶ。 【言語材料】 SVOC[分詞]/関係副詞how/助動詞の過去形 【言語活動】 互いに話を伝え合う理由を述べる。 【言語の働き】 心配事を伝える/援助を申し出る	中間 考査	スピーチの場面で、身の回りの出来事について、体験した内容を基に、わかりやすく自分の考えや気持ちを話して伝えようとしている。
	10	Unit 6 What are the qualities of a good leader?	【題材内容】 オンライン百科事典の伝記などを通して、優れたリーダーシップをもつ人物の経歴を学ぶ。 【言語材料】 分詞構文/関係副詞where [when/why] 【言語活動】 優れたリーダーが備えている資質を説明する。 【言語の働き】 返答する/相づちを打つ		ある人物を紹介するために、関連のある情報を時系列で書いたり、経歴を紹介したりして、読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書こうとしている。
	11	Unit 7 Where will you live in the future?	【題材内容】 英字新聞の記事などを通して、今住んでいる場所を選んだ理由やそこでの暮らしの魅力について学ぶ。 【言語材料】 原形不定詞/仮定法過去完了/過去完了進行形 【言語活動】 人々がどのような理由で住む場所を決めているのかを説明する。 【言語の働き】 反論する/同意する	期末 考査	将来住みたい場所についての主張を展開するために、パラグラフの構成を意識して書いたり、本論で理由を具体例とともに述べたりして、読み手を意識しながら、原稿を書こうとしている。
	12	Unit 8 How do cultures and traditions affect teens' lives?	【題材内容】 ウェブの記事などを通して、世界中のさまざまな成人の儀式について学ぶ。 【言語材料】 関係代名詞what/関係代名詞の非制限用法 【言語活動】 日常生活について、外国のティーンエイジャーと自分との類似点や相違点を説明する。 【言語の働き】 習慣を表す/共感する	パ フォー マンス テスト	プレゼンテーションの場面で、外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、わかりやすく話して伝えようとしている。
第3学期	1	Unit 8 How do cultures and traditions affect teens' lives?	【題材内容】 ウェブの記事などを通して、世界中のさまざまな成人の儀式について学ぶ。 【言語材料】 関係代名詞what/関係代名詞の非制限用法 【言語活動】 日常生活について、外国のティーンエイジャーと自分との類似点や相違点を説明する。 【言語の働き】 習慣を表す/共感する		プレゼンテーションの場面で、外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、わかりやすく話して伝えようとしている。
	2	Optional Reading 1 Amelia Bedelia	【題材内容】 題い定の指示を読み違えて勘違いの行動をとってしまう愉快なハウスキーパーの物語。登場人物の行き違いを読み取る。	学年 末考査	自分の考えをまとめるために、ストーリーの内容について、動詞・動詞句が表す意味の違いを捉えたりそのことで生じる相手の誤解について考えたりしようとしている。
	3	Optional Reading 2 Information Please	【題材内容】 電話がまだ珍しかった時代、当時子供だった語り手と、親切な電話交換手の心の交流を描く感動物語。登場人物の心情を読み取る。	パ フォー マンス テスト	自分の考えをまとめるために、ストーリーの内容について、登場人物の心情を捉えようとしている。

※行事等で変更になる場合があります。

令和5年度「論理・表現Ⅰ」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
1	普通科・美術科	英語	論理・表現Ⅰ	普通科2 美術科1	必修
教科書	Vision Quest English Logic and Expression I				
副教材	Vision Quest English Logic and Expression I WORKBOOK、Ultimate 総合英語 スマートレクチャーコレクション、Vintage				

	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	学びに向かう力、人間性 (E)
学習の目標	場面に応じて、自分の考えを書いたり、話したりするための、語彙やイディオム、文法を身に付けることができる。	場面に応じて、自分の考えを語彙やイディオム、文法を積極的に活用して書いたり、話したりすることができる。	他者との英語でのやり取りを通して、自分の生き方や在り方について深く考えることができ、他者にも影響を与えていくことができる。

評価	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	主体的に学習に取り組む態度 (E)
評価の割合	4	4	2
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・確認テスト等の結果		
			提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	<p>①予習を前提とした授業を行っていきます。積極的に辞書や文法書を活用し、問題を解くなどの予習し、授業に臨むこと。</p> <p>②学習時間が重要です。毎日1時間の学習時間を意識してください。語学習得は時間が必要です。振り返りを行うこと。</p> <p>③即興型ディベートを導入していきます。チームの中で自分の役割を明確にして積極的に参加してください。</p> <p>④chromeを活用して日々の語彙力強化を充実させていきます。</p>
------------------	--

※備考	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
	<p>Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる</p>	<p>Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる</p>	<p>Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする</p>

令和5年度 年間指導計画

学期	月	単元等	学習のまとめりごとの目標	定期 考查	単元の本質を表現する問い 生徒の「なぜ」を引き出す問い
第1学期	4	Lesson 1 文の種類 I want to introduce my new friend.	話題 紹介: 初対面で行われる自然な会話や学校の習慣を紹介する表現を学ぶ。 機能 応答する/理由を述べる: 相手の発話に適切な応答をする。また、多様な表現を用い理由を述べる。		文法 文の種類: 様々な疑問文や命令文、感嘆文を適切に作り、それに応答する。また、単文、重文、複文の構成を理解し、まとまりのある文を用いて表現する。
	5	Lesson 2 文型と動詞 How about joining our group?	話題 学校生活: 学校の文化祭に参加する留学生との会話を通して、学校生活で行われる生徒同士のやり取りの表現を学ぶ。 機能 賛成・反対する/聞き直す: 賛成・反対の意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりする。	中間 考查	文法 文型と動詞: 5つの文型とThere +be動詞+主語の構文を理解し、文を組み立てる。また、注意すべき自動詞と他動詞を使い分ける。
	6	Lesson 3 時制 I'm planning a day trip this weekend.	話題 旅行・観光: 旅行の計画や予定を尋ねたり伝えたりする表現を学ぶ。 機能 激励する/励ます/計画する・予定する: 会話の相手を激励したり、励ましたりする。また、計画したり、予定していることを伝え合う。	期末 考查	文法 時制: 基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて伝える。
	7	Lesson 4 完了形 Have you ever tried it before?	話題 趣味・関心: 趣味や関心のあることについて、その経験を尋ねたり、伝えたりする表現を学ぶ。 機能 経験を尋ねる/初めての経験を述べる: 今までの経験や初めての経験について、様々な表現を用いて尋ねたり、伝えたりする。	パ フォー マン ス テ ス ト	文法 完了形: 現在・過去・未来の完了形の内容を理解し、それぞれの用法を区別する。また、共に使える語句を使って、適切に文を作ったり、表現したりする。
第2学期	9	Lesson 5 助動詞 Lesson 6 受動態	話題 将来・進路: 将来や進路について、自分の考えや気持ちを伝えたり、相手に尋ねたりする表現を学ぶ。 機能 許可を求める・依頼する/義務・必要を表す/回想する・自省する: 会話の相手に許可を求めたり、依頼する。また、義務や必要性を伝えたり、過去の事柄を回想したり、自省する。 話題 日常生活: 日常生活で発話される生徒同士の自然な会話の流れや自分の感情や物事を表す表現を学ぶ。 機能 原因・影響を表す/喜び・驚きを表す: 様々な表現を用いて原因・影響や感情や物事を表す表現を学ぶ。		文法 助動詞: 様々な助動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現する。 文法 受動態: 受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝える。
	10	Lesson 7 不定詞	話題 交流・交際: 誕生日会を舞台に繰り広げられる友だち同士の自然な会話のやり取りから、感情を表す様々な表現を学ぶ。 機能 感謝する/謝罪する/弁解する: 感謝・謝罪・弁解する際に頻繁に使用される表現を学び、会話の相手に感情を適切に伝える。	中間 考查	文法 不定詞: 様々な不定詞の用法を学び、詳細な情報を伝える。
	11	Lesson 8 動名詞	話題 スポーツ・健康: スポーツチームについて話す会話からチームに誘ったり、見学を勧めたりする表現を学ぶ。 機能 誘う・申し出る/推薦する: 相手を誘ったり、申し出たりする表現や相手に物事を適切に推薦する表現を学ぶ。	期末 考查	文法 動名詞: 動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を使用した多様な文で伝える。
	12	Lesson 9 分詞	話題 メディア・コミュニケーション: 留学生とのやり取りから、メディアを使用したコミュニケーションについて、意見を述べたり、情報を加えて詳しく説明する表現を学ぶ。 機能 描写する/判断の根拠を述べる: 人や物事について、情報を加えて詳しく説明する。また、判断の根拠を示す表現を使用して論理的に伝える。	パ フォー マン ス テ ス ト	文法 分詞: 名詞を修飾する分詞の用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現する。
第3学期	1	Lesson 10 関係詞	話題 文化・異文化理解: 日本や他国の文化や習わしについて話されるやり取りから、日本特有のことばや文化、また異文化について紹介したり、その違いについて述べる表現を学ぶ。 機能 定義する/言い換える/経緯を説明する: 人や物事、経緯を詳細に説明したり、言い換えや要約をしったりする。		文法 関係詞: 関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりする。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表す。
	2	Lesson 11 比較	話題 国際問題: フェアトレード(公正取引)について話される会話から、物事を提案したり、相手の発言を称賛する仕方を学ぶ。 機能 提案する/称賛する: 提案する表現や称賛する表現を学び、適切な提案と受け答えをする。	学 年 末 考 査	文法 比較: 比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明する。
	3	Lesson 12 仮定法	話題 社会問題: 日本の社会問題について話されるやり取りから、自分の意見や考えを伝えたり、相手の助言を求めたりする表現を学ぶ。 機能 助言を求める・助言する/願望を表す: 助言や願望を表す様々な表現を学び、相手や自分の立場に応じた適切な助言を求めたり、伝えたりする。また、願望を表す表現を使い自分の意志や要望を伝える。	パ フォー マン ス テ ス ト	文法 仮定法: 仮定法を用いて、事実と違うことと実際には起こりえないことを述べる。

※行事等で変更になる場合があります。

令和5年度「論理・表現Ⅰ」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
1	理数科	英語	科学英語	2	必修
教科書	Vision Quest English Logic and Expression I				
副教材	Vision Quest English Logic and Expression I WORKBOOK、Ultimate 総合英語 スマートレクチャーコレクション、Vintage				

学習の目標	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	学びに向かう力、人間性 (E)
	場面に応じて、自分の考えを書いたり、話したりするための、語彙やイディオム、文法を身に付けることができる。	場面に応じて、自分の考えを語彙やイディオム、文法を積極的に活用して書いたり、話したりすることができる。	他者との英語でのやり取りを通して、自分の生き方や在り方について深く考えることができ、他者にも影響を与えていくことができる。

評価	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	主体的に学習に取り組む態度 (E)
評価の割合	4	4	2
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・確認テスト等の結果		
			提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	<p>①予習を前提とした授業を行っていきます。積極的に辞書や文法書を活用し、問題を解くなどの予習し、授業に臨むこと。</p> <p>②学習時間が重要です。毎日1時間の学習時間を意識してください。語学習得は時間が必要です。振り返りを行うこと。</p> <p>③即興型ディベートを導入していきます。チームの中で自分の役割を明確にして積極的に参加してください。</p> <p>④chromeを活用して日々の語彙力強化を充実させていきます。</p>
------------------	--

※備考	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
二高ICEモデルとは？	Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる	Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする

令和5年度 年間指導計画

学期	月	単元等	学習のまとめりごとの目標	定期 考查	単元の本質を表現する問い 生徒の「なぜ」を引き出す問い
第1学期	4	Lesson 1 文の種類 I want to introduce my new friend.	話題 紹介: 初対面で行われる自然な会話や学校の習慣を紹介する表現を学ぶ。 機能 応答する/理由を述べる: 相手の発話に適切な応答をする。また、多様な表現を用い理由を述べる。		文法 文の種類: 様々な疑問文や命令文、感嘆文を適切に作り、それに応答する。また、単文、重文、複文の構成を理解し、まとまりのある文を用いて表現する。
	5	Lesson 2 文型と動詞 How about joining our group?	話題 学校生活: 学校の文化祭に参加する留学生との会話を通して、学校生活で行われる生徒同士のやり取りの表現を学ぶ。 機能 賛成・反対する/聞き直す: 賛成・反対の意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりする。	中間 考查	文法 文型と動詞: 5つの文型とThere +be動詞+主語の構文を理解し、文を組み立てる。また、注意すべき自動詞と他動詞を使い分ける。
	6	Lesson 3 時制 I'm planning a day trip this weekend.	話題 旅行・観光: 旅行の計画や予定を尋ねたり伝えたりする表現を学ぶ。 機能 激励する/励ます/計画する・予定する: 会話の相手を激励したり、励ましたりする。また、計画したり、予定していることを伝え合う。	期末 考查	文法 時制: 基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて伝える。
	7	Lesson 4 完了形 Have you ever tried it before?	話題 趣味・関心: 趣味や関心のあることについて、その経験を尋ねたり、伝えたりする表現を学ぶ。 機能 経験を尋ねる/初めての経験を述べる: 今までの経験や初めての経験について、様々な表現を用いて尋ねたり、伝えたりする。	パ フォー マン ス テ ス ト	文法 完了形: 現在・過去・未来の完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別する。また、共に使える語句を使って、適切に文を作ったり、表現したりする。
第2学期	9	Lesson 5 助動詞 Lesson 6 受動態	話題 将来・進路: 将来や進路について、自分の考えや気持ちを伝えたり、相手に尋ねたりする表現を学ぶ。 機能 許可を求める・依頼する/義務・必要を表す/回想する・自省する: 会話の相手に許可を求めたり、依頼する。また、義務や必要性を伝えたり、過去の事柄を回想したり、自省する。 話題 日常生活: 日常生活で発話される生徒同士の自然な会話の流れや自分の感情や物事を表す表現を学ぶ。 機能 原因・影響を表す/喜び・驚きを表す: 様々な表現を用いて原因・影響や感情を表す。		文法 助動詞: 様々な助動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現する。 文法 受動態: 受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝える。
	10	Lesson 7 不定詞	話題 交流・交際: 誕生日会を舞台に繰り広げられる友だち同士の自然な会話のやり取りから、感情を表す様々な表現を学ぶ。 機能 感謝する/謝罪する/弁解する: 感謝・謝罪・弁解する際に頻繁に使用される表現を学び、会話の相手に感情を適切に伝える。	中間 考查	文法 不定詞: 様々な不定詞の用法を学び、詳細な情報を伝える。
	11	Lesson 8 動名詞	話題 スポーツ・健康: スポーツチームについて話す会話からチームに誘ったり、見学を勧めたりする表現を学ぶ。 機能 誘う・申し出る/推薦する: 相手を誘ったり、申し出たりする表現や相手に物事を適切に推薦する表現を学ぶ。	期末 考查	文法 動名詞: 動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を使用した多様な文で伝える。
	12	Lesson 9 分詞	話題 メディア・コミュニケーション: 留学生とのやり取りから、メディアを使用したコミュニケーションについて、意見を述べたり、情報を加えて詳しく説明する表現を学ぶ。 機能 描写する/判断の根拠を述べる: 人や物事について、情報を加えて詳しく説明する。また、判断の根拠を示す表現を使用して論理的に伝える。	パ フォー マン ス テ ス ト	文法 分詞: 名詞を修飾する分詞の用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現する。
第3学期	1	Lesson 10 関係詞	話題 文化・異文化理解: 日本や他国の文化や習わしについて話されるやり取りから、日本特有のことばや文化、また異文化について紹介したり、その違いについて述べる表現を学ぶ。 機能 定義する/言い換える/経緯を説明する: 人や物事、経緯を詳細に説明したり、言い換えや要約をしたりする。		文法 関係詞: 関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりする。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表す。
	2	Lesson 11 比較	話題 国際問題: フェアトレード(公正取引)について話される会話から、物事を提案したり、相手の発言を称賛する仕方を学ぶ。 機能 提案する/称賛する: 提案する表現や称賛する表現を学び、適切な提案と受け答えをする。	学 年 末 考 査	文法 比較: 比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明する。
	3	Lesson 12 仮定法	話題 社会問題: 日本の社会問題について話されるやり取りから、自分の意見や考えを伝えたり、相手の助言を求めたりする表現を学ぶ。 機能 助言を求める・助言する/願望を表す: 助言や願望を表す様々な表現を学び、相手や自分の立場に応じた適切な助言を求めたり、伝えたりする。また、願望を表す表現を使い自分の意志や要望を伝える。	パ フォー マン ス テ ス ト	文法 仮定法: 仮定法を用いて、事実と違うことと実際には起こりえないことを述べる。

※行事等で変更になる場合があります。

令和5年度「英語コミュニケーションⅡ」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2年	普通科・理数科・美術科	英語	英語コミュニケーションⅡ	4・3・3	必修
教科書	ENRICH LEARNING English Communication II (東京書籍)				
副教材	英単語ターゲット1900 (旺文社)				

	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	学びに向かう力、人間性 (E)
学習の目標	<p>必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</p>	<p>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。</p> <p>基本形菜語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。</p> <p>基本的な語句や文を用いて、情報や考え、きもちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。</p>	<p>授業を通して学んだ内容に関連する世界の社会的課題や問題点について、自分なりに調べ、その解決策を英語を用いて発信したり、議論することができる。</p>

評価	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	主体的に学習に取り組む態度 (E)
評価の割合	4	4	2
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・確認テスト等の結果		
			提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	<p>① 1学期中間・期末、2学期中間・期末、学年末考査を実施します。大学入試個別試験に対応できる記述問題で「思考」を促す問題（思考・判断・表現）」に関する記述問題を出題します。</p> <p>② 知識・技能に関しては、二高ICEモデルのチェックリスト（評価表）を使用し、自己評価・相互評価・教師評価を行います。</p> <p>③ google classroom「課題」を使用し、思考を促す問いの記述課題を出題します。</p> <p>④ プレゼンテーションやディベートなどの活動について、自己評価・相互評価・教師評価を行います。</p> <p>⑤ スピーキング、ライティングのパフォーマンステストを実施します。</p>
------------------	--

※備考	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの				
二高ICEモデルとは？	Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる	Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする		

令和5年度 年間指導計画

学期	月	単元等	学習のまとめりごとの目標	定期 考査	単元の本質を表現する問い 生徒の「なぜ」を引き出す問い
第1学期	4	Unit 1	・助動詞＋完了形・不定詞の意味上の主語を理解する。 ・絶滅の危機に瀕している動物の特徴や生態などについて説明する。		What can we do to prevent endemic species from becoming extinct?
	5	Unit 2	・受け身の不定詞・助動詞doによる強調を理解する。 ・ある論題について、主張と根拠を明確にしながら、ディベートを行う。	中間考査	Which sports can really be called sports?
	6	Unit 3	・先行詞を含む関係副詞・否定後の倒置を理解する。 ・レストランのレビューや、他のレビューへのコメントを書く。	期末考査	How do we choose what we eat?
	7	Unit 4	・強調構文・関係副詞の非制限用法を理解する。 ・有益だと思う発明品について説明する。	パフォーマンステスト	How have inventions changed history?
第2学期	9	Unit 5	・接続詞＋文士・完了不定詞を理解する。 ・「ギャップイヤー」への賛成・反対の意見とその理由を説明する。		What can we learn from traveling?
	10	Unit 6	・部分否定を理解する。 ・正確が振る舞いに及ぼしている影響について説明する。	中間考査	How do people's personalities affect their behavior?
	11	Unit 7	・受け身の進行形・be動詞＋不定詞を理解する。 ・紙幣に取り上げるべき人物について意見を述べ合う。	期末考査	Who should we celebrate on our money?
	12	Unit 8	・複合関係副詞を理解する。 ・あるニュースの真偽について意見を述べ合う。	パフォーマンステスト	How can we find out if news is real or fake?
第3学期	1	Unit 9	・過去の習慣について理解する。 ・ある仕事を選ぶ理由やその仕事への適性を伝え合う。		What is important when choosing a job?
	2	Unit 10	・未来進行形・未来完了形を理解する。 ・ディスカッションを通して考えを深め、効果的にプレゼンテーションする。	学年末考査	How can we improve our school?
	3	Active Reading 1 Active Reading 2	・背景知識を生かして、異なる視点からストーリーを読み取る。 ・展開を予想しながら意外な結末を読み取る。	パフォーマンステスト	What will happen next?

※行事等で変更になる場合があります。

令和5年度「論理・表現Ⅱ」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2	普通科・理数科	英語	論理・表現Ⅱ	2	必修
教科書	Vision Quest English Logic and Expression II Ace				
副教材	Vision Quest 論理・表現Ⅱ Ace WORKBOOK、Ultimate総合英語、Listening Essentials 2、Vintage				

学習の目標	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	学びに向かう力、人間性 (E)
	<p>【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。</p> <p>【技能】 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。</p>	目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自立的に表現しようとしている。

評価	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	主体的に学習に取り組む態度 (E)
評価の割合	4	4	2
主な評価方法	定期考査・課題考査・実力考査・確認テスト等の結果		
			提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	<p>①1学期中間・期末、2学期中間・期末、学年末考査を実施します。大学入試個別試験に対応できる記述問題で「思考」を促す問題（思考・判断・表現）」に関する記述問題を出題します。</p> <p>②知識・技能に関しては、二高ICEモデルのチェックリスト（評価表）を使用し、自己評価・相互評価・教師評価を行います。</p> <p>③google classroom「課題」を使用し、思考を促す問いの記述課題を出題します。</p> <p>④プレゼンテーションやディベートなどの活動について、自己評価・相互評価・教師評価を行います。</p> <p>④スピーキング、ライティングのパフォーマンステストを実施します。</p>
------------------	---

※備考	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
	Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる	Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする

令和5年度 年間指導計画

学期	月	単元等	学習のまとめりごとの目標	定期 考査	単元の本質を表現する問い 生徒の「なぜ」を引き出す問い
第1学期	4	Lesson 1	言語 適切な主語を用いる:主語の選択や主語になる名詞句、形式主語の概念を理解し、適切な文を組み立てる。 表現 目標と達成[書くこと]:自分の目標と達成のために必要なことについて、文と文のつながりを意識して書いて伝える。 論理 文と文をつなぐ:先行する文の内容を代名詞の置き換えやthisで受けたり、つなぎの言葉を用いたりすることで、文と文の論理関係を適切に使用する。		What is your future goal?
	5	Lesson 2	言語 適切な動詞を用いる:自動詞と他動詞を使い分けたり、群動詞を適切に用いたりして文を組み立てる。 表現 好きな学校行事[書くこと]:自分の高校の行事について紹介する文章を、パラグラフの構成に意識して詳しく書いて伝える。 論理 パラグラフ(パラグラフの基本構成/列挙・順序):パラグラフの基本構成を学び、列挙・順序のパターンを用いた論理的な構成やつなぎの言葉を適切に用いて、書いて伝える。	中間 考査	What school events do you have?
	6	Lesson 3・4	言語 時を表す:現在・過去・未来を表すために、適切な動詞の形や文の構造を用いる。 表現 好きなアスリートと実績[書くこと]:自分の好きなアスリートと実績について、パラグラフの構成に意識して詳しく書いて伝える。 言語 義務・必要・推量を表す:義務・必要・推量を表すために、助動詞を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。	期末 考査	Who is the best athlete? Is social media safe?
	7	Lesson 5	言語 情報を加える(1):形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。 表現 エネルギーの使い過ぎによって引き起こされる問題[書くこと]:エネルギーの使い過ぎによって引き起こされる問題について、パラグラフの構成に意識して、自分の意見や主張を書いて伝える。 論理 パラグラフ(原因・理由・結果):原因・理由・結果について述べる論理的なパラグラフの構成やつなぎの言葉を適切に用いて、書いて伝える。	パ フォー マン ス テ ス ト	How does overusing energy affect us?
第2学期	9	Lesson 6	言語 情報を加える(2):関係代名詞や関係副詞を用いた文の構造を理解し、文を組み立てる。 表現 訪れたい国と文化[書くこと]:訪れたい国とその国の文化について、自身の主張や理由の根拠を示して、詳しく書いて伝える。 論理 主張や理由の根拠を示す:主張や理由の根拠となる情報を示し、資料や他者の言葉の引用や出典を表す表現を適切に用いて、書いて伝える。		What are some cultural differences?
	10	Lesson 7	言語 情報を加える(1):形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。 表現 第二公用語としての英語[書くこと]:日本の第二公用語としての英語の導入の賛否に関する記事を読んで、文章全体の概要と構成を理解し、まとめる。	中間 考査	Do all Japanese people need to speak English?
	11	Lesson 8	言語 情報を伝える:相手に情報を伝えるために、直接話法、間接話法、また様々な伝達表現を用いて適切な文の形や構造を組み立てる。 表現 日本の社会[話すこと(やり取り)]:職場の観点から考えた日本の社会に関するプレゼンテーションを聞いて、全体の概要と構成を理解し、まとめる。また、日本の社会をより公平で寛容にする方法について、ペアやグループで議論する。 論理 リスニングの要約:日本の教育制度の目標について話されるプレゼンテーションの要約:条件や仮定を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。	期末 考査	Is Japan open enough?
	12	Lesson 9	言語 条件と仮定を表す:条件や仮定を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。 表現 想像上の状況[書くこと]:宝くじが当たり、大金を手にしたらという仮定の状況を想定し、自分の考えや主張をまとめたり、クラスメートと話して伝え合ったりして、スピーチの原稿を作成する。 論理 スピーチ[話すこと(発表)]:スピーチの構成や伝え方を意識して、自分の考えや主張を話して伝える。	パ フォー マン ス テ ス ト	What if you were rich?
第3学期	1	Lesson 10	言語 数量を表す:可算名詞と不可算名詞の使い分けや数量を表す表現、割合・数量の変化を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てる。 表現 AIと共に働くこと[書くこと]:AIと共に働くときに重要な事について、自分の考えやその根拠を示す情報を調べるなどして、クラスに話して伝えるために、プレゼンテーションの原稿を作成する。		How might AI affect our lives?
	2	Lesson 11	言語 比較を表す:原級比較、比較級、最上級を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てる。 表現 睡眠時間の賛否[書くこと]:「7時間以上の睡眠を取るべきか」という議題について、賛否の意見を考え、詳しく書いてまとめる。 論理 ディベート[話すこと(やり取り)]:ディベートのルールや手順、構成を理解して、チームと協力しながら、自分の役割に応じて、主張を話して伝え合う。	学 年 末 考 査	What is a healthy life?
	3	Lesson 12	言語 否定を表す:否定を含む語や部分否定、準否定などの否定を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てる。 表現 チョコレートを販売する上で重要なこと[書くこと]:チョコレートを販売する上で重要なことについて、自分の意見や主張を考え、根拠となる資料を示しながら、グループで話して伝え合う。	パ フォー マン ス テ ス ト	What is important when we sell chocolate?

※行事等では変更になる場合があります。

令和5年度「論理・表現Ⅰ」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2	美術科	英語	論理・表現Ⅰ	1	必修
教科書	Vision Quest English Logic and Expression I				
副教材	Vision Quest English Logic and Expression I WORKBOOK、Ultimate 総合英語、Vintage				

学習の目標	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	学びに向かう力、人間性 (E)
	<p>場面に応じて、自分の考えを書いたり、話したりするための、語彙やイディオム、文法を身に付けることができる。</p>	<p>場面に応じて、自分の考えを語彙やイディオム、文法を積極的に活用して書いたり、話したりすることができる。</p>	<p>他者との英語でのやり取りを通して、自分の生き方や在り方について深く考えることができ、他者にも影響を与えていくことができる。</p>

評価	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	主体的に学習に取り組む態度 (E)
評価の割合	4	4	2
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・確認テスト等の結果		
			提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	<p>①予習を前提とした授業を行っていきます。積極的に辞書や文法書を活用し、問題を解くなどの予習し、授業に臨むこと。</p> <p>②学習時間が重要です。毎日1時間の学習時間を意識してください。語学習得は時間が必要です。振り返りを行うこと。</p> <p>③定期的に基本例文とVintageの小テストを実施します。満点を目指して勉強してください。</p>
------------------	---

※備考	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
	<p>Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる</p>	<p>Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる</p>	<p>Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする</p>

令和5年度 年間指導計画

学期	月	単元等	学習のまとめりごとの目標	定期 考査	単元の本質を表現する問い 生徒の「なぜ」を引き出す問い
第1学期	4	Lesson 11 比較	話題 国際問題:フェアトレード(公正取引)について話される会話から、物事を提案したり、相手の発言を称賛する仕方学ぶ。 機能 提案する/称賛する:提案する表現や称賛する表現を学び、適切な提案と受け答えをする。	中間 考査	文法 比較:比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明する。
	5	Lesson 12 仮定法	話題 社会問題:日本の社会問題について話されるやり取りから、自分の意見や考えを伝えたり、相手の助言を求めたりする表現を学ぶ。 機能 助言を求める・助言する/願望を表す:助言や願望を表す様々な表現を学び、相手や自分の立場に応じた適切な助言を求めたり、伝えたりする。また、願望を表す表現を使い自分の意志や要望を伝える。	期末 考査	文法 仮定法:仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べる。
	6	Lesson 1 文の種類 I want to introduce my new friend.	話題 紹介:初対面で行われる自然な会話や学校の習慣を紹介する表現を学ぶ。 機能 応答する/理由を述べる:相手の発話に適切な応答をする。また、多様な表現を用い理由を述べる。		文法 文の種類:様々な疑問文や命令文、感嘆文を適切に作り、それに応答する。また、単文、重文、複文の構成を理解し、まとまりのある文を用いて表現する。
	7	Lesson 2 文型と動詞 How about joining our group?	話題 学校生活:学校の文化祭に参加する留学生との会話を通して、学校生活で行われる生徒同士のやり取りの表現を学ぶ。 機能 賛成・反対する/聞き直す:賛成・反対の意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりする。	パ フォー マン ス テ ス ト	文法 文型と動詞:5つの文型とThere +be動詞+主語の構文を理解し、文を組み立てる。また、注意すべき自動詞と他動詞を使い分ける。
第2学期	9	Lesson 3 時制 I'm planning a day trip this weekend.	話題 旅行・観光:旅行の計画や予定を尋ねたり伝えたりする表現を学ぶ。 機能 激励する・励ます/計画する・予定する:会話の相手を激励したり、励ましたりする。また、計画したり、予定していることを伝え合う。	中間 考査	文法 時制:基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて伝える。
	10	Lesson 4 完了形 Have you ever tried it before?	話題 趣味・関心:趣味や関心のあることについて、その経験を尋ねたり、伝えたりする表現を学ぶ。 機能 経験を尋ねる/初めての経験を述べる:今までの経験や初めての経験について、様々な表現を用いて尋ねたり、伝えたりする。	期末 考査	文法 完了形:現在・過去・未来の完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別する。また、共に使える語句を使って、適切に文を作ったり、表現したりする。
	11	Lesson5 助動詞 Lesson 6 受動態	話題 将来・進路:将来や進路について、自分の考えや気持ちを伝えたり、相手に尋ねたりする表現を学ぶ。 機能 許可を求める・依頼する/義務・必要を表す/回想する・自省する:会話の相手に許可を求めたり、依頼する。また、義務や必要性を伝えたり、過去の事柄を回想したり、自省する。 話題 日常生活:日常生活で話される生徒同士の自然な会話の流れや自分の感情や物事を表す表現を学ぶ。 機能 原因・影響を表す/喜び・驚きを表す:様々な表現を用いて、原因		文法 助動詞:様々な助動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現する。 文法 受動態:受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝える。
	12	Lesson 7 不定詞	話題 交流・交際:誕生日会を舞台に繰り広げられる友だち同士の自然な会話のやり取りから、感情を表す様々な表現を学ぶ。 機能 感謝する/謝罪する/弁解する:感謝・謝罪・弁解する際に頻繁に使用される表現を学び、会話の相手に感情を適切に伝える。	パ フォー マン ス テ ス ト	文法 不定詞:様々な不定詞の用法を学び、詳細な情報を伝える。
第3学期	1	Lesson 8 動名詞	話題 スポーツ・健康:スポーツチームについて話す会話からチームに誘ったり、見学を勧めたりする表現を学ぶ。 機能 誘う・申し出る/推薦する:相手を誘ったり、申し出たりする表現や相手に物事を適切に推薦する表現を学ぶ。	学 年 末 考 査	文法 動名詞:動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を使用した多様な文で伝える。
	2	Lesson 9 分詞	話題 メディア・コミュニケーション:留学生とのやり取りから、メディアを使用したコミュニケーションについて、意見を述べたり、情報を加えて詳しく説明する表現を学ぶ。 機能 描写する/判断の根拠を述べる:人や物事について、情報を加えて詳しく説明する。また、判断の根拠を示す表現を使用して論理的に伝える。		文法 分詞:名詞を修飾する分詞の用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現する。
	3	Lesson 10 関係詞	話題 文化・異文化理解:日本や他国の文化や習わしについて話されるやり取りから、日本特有のことばや文化、また異文化について紹介したり、その違いについて述べる表現を学ぶ。 機能 定義する/言い換える/経緯を説明する:人や物事、経緯を詳細に説明したり、言い換えや要約をしたりする。	パ フォー マン ス テ ス ト	文法 関係詞:関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりする。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表す。

※行事等に変更になる場合があります。

令和5年度「コミュニケーション英語Ⅲ」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
3	普通科・理数科・美術科	外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	普通科文系4、普通科理系、理数科2・美術科	必修
教科書	ELEMENT English CommunicationⅢ				
副教材	現代を読む、現代を探る、現代を見る（美術科）、Smart Reader（普通科文系、普通科理系理1コース）				

	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	学びに向かう力、人間性 (E)
学習の目標	説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点を説明できる。	学んだ知識を自らの経験と結びつけて、自分の考えを述べたり、書いたりするために活用することができる。	学んだ内容に関連する社会的課題や問題点について自らの考える解決法を提案し、質疑応答することができる。

評価	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	主体的に学習に取り組む態度 (E)
評価の割合			
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・確認テスト等の結果		
			提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	予習前提の授業、授業での演習の両方を行う。どちらも積極的に取り組むこと。日々の振り返りを疎かにしないこと。学習時間を確保し、継続的な学習を意識してください。
------------------	--

※備考	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
	二高ICEモデルとは？ Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる	Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする

令和5年度 年間指導計画

学期	月	単元等	学習のまとめりごとの目標	定期 考査	単元の本質を表現する問い 生徒の「なぜ」を引き出す問い
第1学期	4	ELEMENT LESSON1 ELEMENT LESSON 2	・説明、評論、物語、随筆などを始めとして、社会的な話題や時事問題について速読して概要をとらえたり、精読をして要点や詳細をとらえたりすることができる。		次のことについて意見交換、エッセイライティング、リサーチ、ディベート、プレゼンテーションなどを行う。 ・言語の消滅について ・「気骨」の秘密について ・沸騰したほうが速く凍るムペンバ現象について
	5	現代を読む①～⑥	・文章の構成を考えながら読むことができる。	中間 考査	
	6	ELEMENT LESSON 4 現代を読む⑦～⑩	・図表との関連を考えながら読んだり、未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら読むことができる。	期末 考査	
	7	現代を読む⑪～⑫	・ディベートやディスカッションなどの活動を通して、身近な出来事や日常的な話題、社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合ったり、課題の解決策を議論し合ったりすることができる。	パ フォー マンス テスト	
第2学期	9	ELEMENT LESSON 6 現代を読む①～⑥	・会話や議論を発展させ、よりよい相互理解を図るために、即興で効果的に質問をしたり、質問に答えたりすることができる。	中間 考査	・人生を支えた学校時代の思い出について
	10	現代を語る⑦～⑩	・スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、身近な出来事や日常的な話題、社会的な話題について独自の視点で考察し、事前の準備に基づいて、ICTなど様々な手法を効果的に用いながら、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝えることができる。		
	11	ELEMENT LESSON 1 0 現代を語る⑪～⑫	・数値や具体的な根拠、理由を示し、論理性に注意しな	学年 末考 査	
	12	マーク型問題演習	「情報を読み取る力」「書き手の意図を把握する力」「概要や要点をとらえる力」「情報を事実と意見に整理する力」などを問題演習を通して身につける。		
第3学期	1	記述型問題演習	思考力・判断力・表現力を駆使し、読解力および答案作成能力を向上させる。		
	2				
	3				

※行事等で変更になる場合があります。

令和5年度「英語表現Ⅱ」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
3	普通科・理数科	外国語	英語表現Ⅱ	2	必修
教科書	be English ExpressionⅡ (いづな書店)				
副教材	Simple Skills for English Writing(BUN-EID0)				

学習の目標	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	学びに向かう力、人間性 (E)
	<p>場面に応じて、自分の考えを書いたり、話すための、語彙やイディオム、文法を身に付けることができる。</p>	<p>場面に応じて、自分の考えを語彙やイディオム、文法を積極的に活用して書いたり、話すことができる。</p>	<p>他者との英語でのやり取りを通して、自分の生き方や在り方について深く考え、身の回りや世界の諸問題を解決するために行動することができる。</p>

評価	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	主体的に学習に取り組む態度 (E)
評価の割合			
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・確認テスト等の結果		
			提出物、学習記録表の取組状況
	スピーキングテスト、プレゼンテーション、ライティングなどのパフォーマンステストを実施する。		

履修上の注意及び学習のアドバイス	<p>予習前提の授業、授業での演習の両方を行う。どちらも積極的に取り組むこと。毎日の授業の振り返りを徹底し、内容の定着を確実にすること。学習時間を確保し、継続した学習を意識すること。</p>
------------------	---

※備考	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
	<p>二高ICEモデルとは？</p> <p>Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる</p>	<p>Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる</p>	<p>Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする</p>

令和5年度 年間指導計画

学期	月	単元等	学習のまとめりごとの目標	定期考査	単元の本質を表現する問い 生徒の「なぜ」を引き出す問い
第1学期	4	第1文型(SV)・第2文型(SVC) 第5文型(SVOC) 無生物主語の文	・日常的な話題や社会的な話題について、主題を設定し、様々な種類の文章を100語～120語程度の英文で書くことができる。		次のことについて意見交換、エッセイライティング、リサーチ、ディベート、プレゼンテーションを行う。 ・ドローンの活用法 ・地球温暖化の日本への影響 ・日本での子育て ・大学教育の無償化 ・地域活性化
	5	Itの構文不定詞動名詞	・多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく書いて伝えることができる。	中間考査 スピーキングテスト	
	6	受動態時制助動詞	・社会的な話題や時事問題について話されている対話や討論などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。	ライティングテスト 期末考査	
	7	条件文と仮定法名詞節関係詞	・社会的な話題や時事問題について話されている対話や討論などを聞いて、英語の音声的な特徴を考慮しつつ情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞くことができる。		
第2学期	9	名詞を修飾する表現 時間や数の表現 否定			
	10	比較 付帯状況 接続詞		中間考査	
	11	強調・倒置・挿入頻出構文		学年末考査	
	12	マーク型問題演習	「情報を読み取る力」「書き手の意図を把握する力」「概要や要点をとらえる力」「情報を事実と意見に整理する力」などを問題演習を通して身につける。		
第3学期	1	記述型問題演習	思考力・判断力・表現力を駆使し、読解力および答案作成能力を向上させる。	共通テスト	
	2			国公立大前期試験	
	3				

※行事等に変更になる場合があります。